

第22回 沖縄県中学校空手道競技大会要項

- 1 主 催 沖縄県中学校体育連盟 沖縄県教育委員会
- 2 共 催 那覇市教育委員会
- 3 後 援 沖縄県中学校教育委員会連合会 沖縄県中学校長会 (公財) 沖縄県体育協会
沖縄県空手道連盟
- 4 期 日 令和元年6月29日(土)
- 5 日 程 令和元年6月29日(土) 監督会議 8:10
開始式 9:00
競技開始 9:45
- 6 会 場 『県立武道館アリーナ』
- 7 申込締切日 各地区中体連の締切日を厳守すること。
(国頭6/12、中頭6/17、那覇6/13、島尻6/12、宮古6/17、八重山6/7)
- 8 申込方法 県中体連ホームページから大会参加申込用紙をダウンロードし必要事項を入力し、プリントアウトしたものに捺印を受け、各地区専門部長から地区中体連事務局を通じ、一括して県中体連事務局まで申し込むこと。
- 9 企画運営責任者 県中体連空手道専門部
◎平良 司(伊良波) ○平良 恵輝(那覇) ○国吉真太郎(沖尚)
玉城 建郎(屋我地) 大城 祐未(大宮) 倉家 昌寛(東江)
国吉 晃子(大宮) 外間 智行(沖縄東) 友利 真子(嘉手納)
瑞慶覧長嗣(真和志) 根間絵里香(久松) 上原 邦夫(波照間)
- 10 参加資格 (1)地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦する団体・個人とする。
但し、地区大会が開催されない地区は、当該中学校の校長が許可し、地区中体連会長の推薦を得たチーム・個人とする。
(2)選手の引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)・部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては学校長の認めた者で、地区・県に登録された者とする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
(3)九州大会への代表権を獲得した場合は県代表としての自覚と責任を持ち、県中体連の計画および指導を遵守し、九州大会へ参加できる学校であること。
(4)沖縄県中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手への引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
- 11 参加制限 (1)団体形
- | | 国頭 | 中頭 | 那覇 | 島尻 | 宮古 | 八重山 |
|----|------|----|----|----|------|-----|
| 男子 | 4チーム | | | | 2チーム | |
| 女子 | 4チーム | | | | 2チーム | |
- (2)団体組手
- | | 国頭 | 中頭 | 那覇 | 島尻 | 宮古 | 八重山 |
|----|------|----|----|----|------|-----|
| 男子 | 4チーム | | | | 2チーム | |
| 女子 | 4チーム | | | | 2チーム | |
- (3)個人形
- | | 国頭 | 中頭 | 那覇 | 島尻 | 宮古 | 八重山 |
|----|----|----|----|----|----|-----|
| 男子 | 8 | 8 | 8 | 8 | 4 | 4 |
| 女子 | 8 | 8 | 8 | 8 | 4 | 4 |
- (4)個人組手
- | | 国頭 | 中頭 | 那覇 | 島尻 | 宮古 | 八重山 |
|----|----|----|----|----|----|-----|
| 男子 | 8 | 8 | 8 | 8 | 4 | 4 |
| 女子 | 8 | 8 | 8 | 8 | 4 | 4 |
- 12 参加料 参加選手一人につき500円とする。申込みと同時に納入すること。

- 13 競技形式 団体組手(男女)・団体形(男女)・個人組手(男女)・個人形(男女)全8種目。
- 14 競技規則 令和元年度(公財)全日本空手道連盟競技規定に準じ、九州中学校体育連盟空手道競技専門委員会申し合わせ事項及び県中体連空手道専門部の確認事項に従って行う。
- 15 競技方法 (1)形競技(トーナメント・フラッグ方式)
 ①1・2回戦は(公財)全日本空手道連盟第1指定形および「鉄騎(ナイハンチ)初段～三段」「三戦」「撃砕1・2」「平安(ピンアン)初段～五段」から選ぶ。(繰り返し可)
 ②3・4回戦は(公財)全日本空手道連盟第2指定形から選ぶ。(繰り返し可)
 ③準決勝・決勝は(公財)全日本空手道連盟競技規定の得意形リストから選ぶ。(繰り返し可、ただし、それまでに使用した形は不可)
 ④指定形のラウンドは、形名の申告をしない。また、同時演武とする。
 ⑤得意形のラウンドから形名の申告を行う。また、個別の演武とする。
 (2)組手競技(トーナメント方式)
 ①6ポイント差で勝負を決する。
 ②競技時間は以下のとおりとする。
 ア、個人戦
 1～3回戦は1分間のフルタイムとする。4回戦(準々決勝)以降は1分30秒間のフルタイムとする。
 イ、団体戦
 1～2回戦は1分間のフルタイムとし、大将戦まで行う。3回戦(準々決勝)以降は1分30秒間のフルタイムとし、勝敗が決定次第終了とする。
 ③団体組手は規定の3人に満たない場合でも、過半数(2人)の選手で成立する。ただし、先鋒戦と中堅戦を行い大将戦は空けるものとする。
- 16 組手の安全具について (1)組手競技に出場する競技者は、以下の安全具を着用する。
 ①ニューメンホー(V・VI・VII)
 ②ボディプロテクター
 ③セーフティーカップ(男子のみ)
 ④拳サポーター(全空連認定の赤および青)
 ⑤シンガード、インステップガード(白のみ)※今年度から完全義務化とする
 ⑥団体組手に出場するチームは、全員分の安全具を用意すること。
- 17 組合せ 本部(専門部)抽選とする。 6月21日(金) 16:00
- 18 表彰 男女団体・個人とも形・組手の第1位～第3位までを表彰する。
- 19 その他 (1)男女ともに団体(形・組手)第1位・2位、個人(形・組手)ベスト4までの選手に九州中学校体育大会への出場資格を与える。
 (2)全国大会出場については、団体、個人とも2位までとする。但し、(公財)全日本空手道連盟の認定級取得者とする。
 (3)県中体連では別紙「個人情報保護方針」に基づき、県中体連が保有する情報の適正な管理と保護に努めます。
 (4)ゼッケン・・・学校名は、しっかり道着の左胸に縫い付けること。